



尼崎市立武庫中学校

学校だより 平成26年3月号 N02

校訓 友愛 正義 自主 創造 健康

<http://www.ama-net.ed.jp/school/J16/index>

諦めずに全力を尽くす、そして挑戦する勇気を持つ！

校長 高橋 利浩

3月11日(火) 第67回卒業証書授与式

赤色の名札をつけた3年生が、立派な卒業式を終え旅立っていきました。整然とした中に暖かいムードがあって、来賓の方々には特に卒業生の群読と合唱のすばらしさをほめていただきました。ステージにたって歌っている3年生の歌を聴くと、言葉にできないくらい熱い思いがこみ上げてきました。

その中で特に印象に残った3年生の「感謝の言葉」を紹介します。

お父さん、お母さんへ「お父さんへ毎日私たちを見守ってくれてありがとう！怒られもおかげで少しずつ大人に近づけました。もうしばらく、迷惑かけることになるけど、りっぱな大人になるようこれからも頑張ります。お母さんへ 毎日のお弁当ありがとう！おいしかったです。だんだん生意気な口ごたえをしたけど、お母さんの弁当は心のささえでした。部活動で悩んだり、勉強でしんどかった時も、友人とけんかした時も、先生にしかられた時も、お父さん、お母さんのおかげで乗り切ることができました。ありがとう！」

在校生のみなさんへ「私たちは、大好きな武庫中学校で精一杯すごしました。今日は、大



ありがとう！」

佐野瑞穂先生へ(3年2組担任)「いつも迷惑かけたけどお世話になりました。バカなことをした時に怒ってくれてありがとう！アルカイクに連れていけなくて、ごめんなさい。今まで本当にあり



がとうございました。」

松田賢先生へ(3年3組担任)「いつも奥さんとラブラブで、いつも笑ったり、泣いたり、怒ったり、悲しんだり喜怒哀楽がはげしく、見ているだけで楽しかったです。先生との思い出は一生の宝物です。先生ありがとう！」

岡田肇先生へ(学年主任)「学年主任をしていただいて、私たちを見てくれてありがとう！3年生の進路選択の時は、たくさん厳しいことを言われて半なきになりながらも自分と向き合えることができました。本当に3年間、ありがとうございました！」



「卒業生の言葉」
(第67回卒業生代表 池原 媛)



「在校生の言葉」
(在校生代表 若松 龍之介)

式辞の一部

君たちにもこれからの人生の中で、いろんな壁にあたります。その時に「もうだめだ。」とあきらめたり、もと来た道をもどろうとするかもしれません。この壁は、君たちが前へ進んでいるから出会う目印のようなものだと考えましょう。みんなそれぞれ自分の壁と向き合う時がきます。その壁は、君たちにとって必要なことだからやってくるのです。だからきつと乗り越えられます。失敗した時は人のせいにはせず、自らの姿勢を振り返り、自分を変えることで学び続け、進んでいって下さい。また、成功や成果におごらず「ありがとう」という「感謝の心」や「おかげさまで」という謙虚な心を持つことが大切です。



